

第4回 JR古賀駅周辺開発推進協議会 議事要旨

日時	令和7年2月18日(火) 15時00分～17時00分		
場所	リーパスプラザこが2階 歴史資料館中会議室		
出席者 (敬称略)	委員	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授	柴田 久
		熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授	星野 裕司
		古賀市商工会 会長	藤井 博文
		ニビシ醤油株式会社 取締役総務部長	末松 裕也
		古賀市行政区 古賀東区長	高原 伸二
		古賀市行政区 古賀北区長	荒牧 明文
		古賀市行政区 古賀南区長	馬場 實
		福岡県公立古賀竟成館高等学校 教頭	横田 覚
		福岡女学院看護大学 事務部長	武井 秀仁
		花鶴タクシー有限会社 代表取締役	保井 亨
		株式会社古賀タクシー 代表取締役	後藤 正典
		西日本鉄道株式会社 自動車事業本部営業部営業第二担当 課長	池田 舞
		九州旅客鉄道株式会社 総合企画本部経営企画部交通・開発計画 副課長	高橋 拓大
		(代理)独立行政法人都市再生機構九州支社 都市再生業務部 担当課長	百合草 真人
事務局	建設産業部古賀駅周辺開発推進課		
オブザーバー	株式会社日建設計	大川 雄三 副島 正成	
	スペースシンタックス・ジャパン株式会社	高松 誠治	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・座席表 ・資料1 委員名簿 ・資料2 次第 ・資料3 JR古賀駅西口周辺整備基本方針(抜粋) ・資料4 JR古賀駅西口周辺社会実験(案) ・資料5 JR古賀駅周辺官民連携ウォークアブル社会実験の報告 ・資料6 3次元都市モデルを活用した空間特性の可視化について ・資料7 【参考】JR古賀駅東口周辺道路の整備方針について(第2回協議会資料) 		

<議事要旨>

1. 開会

2. 主催者挨拶

3. 委員紹介

新しく委嘱された方(末松委員)の紹介

4. 説明および意見交換

(1)JR古賀駅西口周辺整備基本方針の振り返り

JR古賀駅西口周辺整備基本方針(抜粋)について説明(事務局)

(2)JR古賀駅西口周辺における次年度の社会実験(案)について

JR古賀駅西口周辺社会実験(案)について説明(事務局)

【意見交換】

(柴田会長)

今回は、通過交通を止めるために車両を通さないようにすることと、交通を止めることによって生まれる空間で人を中心とした賑わいイベントを行うという2つの社会実験の案となるが、このような社会実験はとても意義のある取り組みで全国的に盛んである。社会実験をすることでメリットや課題を把握・実感でき、政策・施策を進めていくことに繋がる。また現実的にも良いプランだと思う。賑わいイベントの内容の想定はあるか。また、周知の方法について想定していることはあるか。

(事務局)

古賀駅周辺で活動をされている方々と連携したマルシェ等の出店や、民間事業者によるワークショップなどを想定している。
なお、周知は市のHP・SNS・広報、回覧板、JR 駅や周辺店舗への掲示を想定している。

(事務局)

令和5年の社会実験との違いについて補足説明させていただく。

●車両進入禁止について(資料4 2ページ(2)交通社会実験(案))

- ①の車両進入禁止区間について、
(令和5年)・菰野踏切方面⇒サンリブ方面に通る方向は進入可能
・サンリブ方面⇒菰野踏切方面を通る方向は進入不可
(令和7年)・菰野踏切方面⇄サンリブ方面どちらも進入不可

●②の車両進入禁止区間について

前回、抜け道として利用された経緯があり今回は追加の進入禁止措置を実施

●沿道利活用社会実験の箇所増について(資料4 3ページ(3)沿道利活用社会実験(案))

(令和5年)実施箇所②・③・④を中心とした街歩きやサンリブの駐車場でアーバンスポーツ体験会のイベントを実施

(令和7年)駅前広場等の車両進入禁止による歩行者の商店街への回遊増を見込み、実施箇所①・⑤を新たに追加したイベントを予定

(星野副会長)

今回はサンリブのところではイベントはやらないのか。また、イベント自体は1日だけか。

(事務局)

今回サンリブのところでのイベントは想定していないが、サンリブ前の交差点改良については速やかに実施する方向で調整している。沿道利活用社会実験は1日だけだが、交通社会実験は1週間を想定しているので、止めている間の駅前広場の使われ方というのは今後検討していきたい。

(星野副会長)

サンリブから流れてくる歩行者のルートもしっかり作っておくことは大事と思う。
交通社会実験の期間中に何かしら動きがあるのは良いことだと思う。引き続き検討して欲しい。

(柴田会長)

期間を1週間としているが、土曜日から開始して次の日曜日までとすればイベントが2回できる。1回目を逃した人や、口コミで広がることもあるのでこの期間でイベントを2回できないか。

(事務局)

現段階では1回を想定しているが、検討する。

(委員)

2つの社会実験が同じ日であれば、市役所方面から菰野踏切を通過してサンリブ方面へ右折する車両の進入は可能か。進入可能であれば、沿道利活用社会実験の実施箇所⑤の周辺が、進入してきた車両

が多くなることも考えられるが、対策など検討されているか。

(事務局)

菰野踏切からサンリブ方面への車両の進入は可能であるが、駅前広場への通り抜けは出来なくなる。広域的な看板設置での周知を含む事前周知を実施することで考えている。

(委員)

社会実験の広報について十分な周知をしてほしい。
古賀市の人口が減少傾向になっていることに対して駅周辺としてどう考えるか。
JR 古賀駅西口のエスカレーター設置について再度要望したい。

(柴田会長)

人口については、ニワトリが先か卵が先かと同じで、まちの魅力が先か、人口が先かという話になる。若い人たちなどは、どのようなまちか情報を得て移り住んでいる。だから人口が先というよりは、どうやったらまちの魅力を上げることができるのかということはこの協議会でも検討していくことで、人口増に繋がっていくものと考ええる。

(事務局)

JR 古賀駅西口において、エスカレーターの設置も含めて検討している。

(委員)

社会実験も大切だが、早く実現してほしい。

(星野副会長)

交通社会実験期間中は、車両のスピードを抑制するような仕掛けの検討が必要。イベントを実施していない日に、人が少ないから速度を上げて通行するとかえって良くない。商店街内のスピード抑制対策を考えておいたほうがよい。

(柴田会長)

例えば、道路にベンチがあるだけでも車のスピード抑制につながるので検討してほしい。

(委員)

先ほど言っていたサンリブ前の交差点は工事の必要があるのか。

(事務局)

サンリブ前の交差点改良について(資料3 20ページ参照)
これまでの社会実験などで、歩行者が多い箇所だと分かってきたが、歩行者の溜まる場所がなく、横断歩道もないため乱横断が多いなどの課題がある状況。また車道の動線についても分かりにくい。T字路の交差点にして歩行者溜まりを作り、横断歩道を設置する必要があると考えており、県警と協議を進めている。

(3) JR 古賀駅周辺官民連携ウォークアブル社会実験の報告

JR 古賀駅周辺官民連携ウォークアブル社会実験の実施結果について説明(事務局)

【意見交換】

(委員)

ウォークアブル社会実験で行われたイベントは、ユニークで良い取り組みだった。
土曜夜市は20年間行っていて、市民にも待ち焦がれているイベントとなっている。他のイベントを含めてこれは継続してやっていくことで、あそこにいけばあれがあるよねということを住民・地域の人に意識

づけていくことが大事だと思う。待ち焦がれることを作っていくことがウォークアブルなまちづくりにつながっていくと思うので、こういったイベントを増やしていき西口の魅力となるため続けてほしい。

(柴田会長)

全くその通りだと思う。意識して進めてほしい。

(4) JR 古賀駅周辺の3次元都市モデルを活用した空間特性の可視化について

JR 古賀駅東口周辺道路の整備方針を踏まえ、3次元都市モデルを活用した空間特性の可視化について説明(事務局・オブザーバー)

【意見交換】

(柴田会長)

シミュレーションしながら、実際に整備後どう良くなるのか、逆に課題はどんなことが出てくるのか見極めながらやっていくことが大事。有効な分析方法を古賀市でも展開され、今後、協議にも取り入れて活用していくことになる。

(委員)

資料6の31・32ページ、古賀駅における東西の接続性についてももう少し詳しく教えて欲しい。

(オブザーバー)

暖色になるほど人が認知的に近く感じるところ、また曲がったり登ったり降りたりせずスムーズに進むことができる場所で、反対に遠く感じるところ等は寒色になっていると考えて欲しい。現状、赤い箇所が広がっていないということは、駅の周辺で、既に利用者にとって負担があるということとなる。将来予測の方は、赤い箇所が広がりスムーズに感じられる空間が増えるという分析結果となっている。今回、西口の整備については分析に考慮していないが、エスカレーターなどの検討もされていることから、西口も整備されると、西口・東口がよりスムーズに感じることができ空間は増えてくると思われる。

(5) その他

今後のスケジュールについて(事務局)

来年度は協議会を3回行うことで考えており、概ねの時期としては夏頃、年末頃、年度末頃を想定している。

【その他意見交換】

(委員)

8月23日に行われた地元説明会がどうだったか教えて欲しい。
また、今後古賀駅周辺開発推進協議会の体制に消防署は入れないのか。

(事務局)

地元説明会には27名の方にご参加いただいた。
過去には道路を拡幅する計画もあったが既存建物との兼ね合いで市として断念した経緯があり、今回は通過交通を抑制する方向で検討しているが、住民の方から二転三転しているのではないかというご意見や、歩行者にはメリットとなるが、車が必要で通行する人にはデメリットもあるというご意見もあった。一方で、今回の西口の整備方針について賛同する旨のご意見もあった。今後は、今回の基本方針を軸にしながら、地元との意見交換を継続・協議していきたいと考えている。
消防署については、オブザーバーとして参加も可能なため必要に応じて検討していきたい。

(委員)

社会実験を2週に渡ってやるかどうかの検討結果はいつわかるのか。

(事務局)

新年度から具体的な計画を練ることになるので、次回の協議会で方針を報告させていただき、対応できる範囲で調整させていただきたい。

(柴田会長)

今回初めての参加となる末松委員へご意見ご感想などあればお聞きしたい。

(委員)

東口開発について、道路線形を古賀市と協議させていただいている。ニビシ醤油としては、東口をどのように発展させていくのか一番気になっている。公園の中の空間にどのようなお店が入るのがいいのかなど、古賀市の活性化を含めてどうやっていくのがベストなのか考えていきたい。

5. 閉会

以上